

九州体育・保健体育ネットワーク研究会

～長崎ちゃんぽんラウンド～



九州ネットワーク研究会「長崎ちゃんぽんラウンド」は、10月26日(土)に、長崎県庁会場8名、WEB7名 計15名の参加者で、以下の内容で研修を行いました。



- 1 開会行事
- 2 トピックス 「体力向上マネジメントを推進する指導者の役割」
桐蔭横浜大学 佐藤 豊 教授
- 3 事例発表 「学校教育活動全体を通じた体力向上に向けた取組」
長崎県教育庁体育保健課 指導主事 山田 周作
- 4 講義及び
情報交換 「体力向上の視点から体育授業・学校教育の充実について考える」
筑波大学体育系 三田部 勇 准教授
- 5 まとめ 桐蔭横浜大学 佐藤 豊 教授
- 6 閉会行事



トピックス

佐藤豊先生から「体力向上マネジメントを推進する指導者の役割」について講義をしていただきました。

調和のとれた体力の育成を目指すために、子供たちが楽しさ（体を動かす心地よさ）や喜び（運動特性に触れる喜び）に触れたり味わったりすることができるように、体育授業を改善・充実することの重要性を改めて考えました。また、『中学校体力づくり』コンテスト』の映像から、「動きを持続する能力」を楽しく育成するためのアイデアを紹介していただきました。

事例発表

長崎県では、子供たちが体を動かす楽しさや喜びに触れたり味わったりすることができるように『「できて・わかって・楽しい」体育授業』の実現を目指しています。また、体育科・保健体育科の授業以外での体力向上に向けた取組として、『学校をプレイパークに！』を合言葉に、児童・生徒が思わず体を動かして遊びたくなる場の設定を行い、日常生活の中で体力の向上を図る取組を行っています。

講話及び情報交換

三田部准教授から「体力向上の視点から体育授業・学校体育の充実を考える」をテーマに講話をいただきました。体力向上に向けた取組についての情報交換では、発達段階に応じた取組の工夫の重要性についても考えることができました。



事務局より

ドジャース対ヤンキースのワールドシリーズ初戦の日。ベッツ選手のTシャツを着た佐藤豊先生が県庁会場からスタメン出場し、満塁ホームラン級に学びが深まるお話をいただきました。

同じ週に長崎市内で行われた研修会でも講師を務めていただいた三田部先生には、4日間長崎の子供たちのためにご尽力いただくとともに、長崎を楽しんでいただきました。

スタジアムシティの開業で盛り上がる長崎で、来年もお待ちしています。

(文責 山田 周作)